

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	わくわくキッズ倶楽部中郡		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 5日		～ 令和8年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 5日		～ 令和8年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員間の情報共有	保護者や学校等の関係機関から連絡があった際は、全職員で共有し話し合いを行い対応できるようにしている。 子どもたちの様子を随時伝え、支援に差が生じないように共通理解を図っている。	口頭での共有のほかにも、日々をさらに充実させたり、記録として残したりすることで振り返りや通達に役立てていく。
2			
3			

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	学校との連携	学校と事業所のかかわりが少なく、支援級の担任とであれば送迎時の数回程度の情報共有のみ。 学校・事業所共に交流をするアプローチがない。	保護者や相談支援員にも協力をお願いし、学校の職員と情報共有の場を設けられるようにする。 送迎時にできる限り、様子を聞いたり伝えたり情報交換が増やせるようにしていく。 また、学校だけでなく児童クラブでの様子も聞き取りし、支援方針を明確化し統一していく。
2	保護者との懇談会等の機会	情報共有のタイミングが帰りの送迎のみになっている。送迎時に保護者と会わない家庭ではモニタリング等でしか関わるタイミングがない。 定期的に会を催すには負担を感じる家庭もあり、開催に繋がらない。	保護者のニーズを把握して、家庭に合った場を提供できるように関係性を築いていく。 不定期で自由に参観できるような機会を設ける。
3			